

公共交通ネットワークの拡充

鉄軌道サービスを便利に、早く、快適に

- 豊肥本線輸送力強化(複線化、高架化)
- 空港アクセス鉄道の空港以遠への延伸
- 市電輸送力強化、延伸
- 鉄軌道の環状ネットワーク化

基幹的なバスをより太い軸に

- バスの高頻度運転の実現
- 専用道BRT整備

多核公共交通ネットワークの構築

- 豊肥本線各駅での交通結節機能強化
- 新たな主要交通結節点整備

豊肥本線を中心とした
ウェルビーイングな沿線生活圏の実現

関係者の連携による、公共交通で暮らしやすい沿線生活圏の実現

20年後の見込み(目標)

豊肥本線利用者数(目標):現状の2倍※
阿蘇くまもと空港利用者数:622万人/年(2051年度)

※ピーク時6本/h以上の高頻度運行の実現

県内産業の発展

UXプロジェクトやくまもとサイエンスパークなどによる研究機関・企業の集積や国内外との活発な連携

まちづくりの進展

まちづくりの着実な推進と更なる開発計画の前進による沿線の活性化

人口・交通行動の拡大

沿線地域の居住人口・従業(学)人口増による移動需要の増

道路ネットワークの拡充

広域道路ネットワーク充実による渋滞緩和やバス等の二次交通の利便性向上

観光需要の増大

県内各地の観光地やスポーツ文化施設への来訪者の増

さらなる交通系の技術革新

新たなモビリティも含め、無人化・自動化された乗り物の技術の成熟

交通 × まちづくりの連携

公共交通で快適に移動できる
ウォークアブルなまち

- 人口集中エリアへの自動車流入抑制
- 多様な移動手段があるまちづくり
- 公共交通利便性の高い地域への居住誘導・施設誘導
- 官民連携による駐車場料金施策

空港や駅を地域の生活・交流拠点に

- 空港周辺の生活利便施設整備
- 駅周辺施設整備(商業・行政サービス施設等)



都市空間における自動運転技術の活用に向けたポイント集(国土交通省)より
将来の駅前広場イメージ(自動運転車両)



~世界に誇る阿蘇へ・レールの先に~



公共交通サービスの利便性向上

多様な人を受け入れるまちとしての
日本一シームレスな公共交通へ

- 公共交通ネットワークの再編・強化
- 駅発着バス路線整備
- MaaSの拡大・定着
- ユニバーサルな公共交通の実現(バリアフリー化・多言語対応等)



YOKOHAMA AIR CABIN HPより
都市型ロープウェイのイメージ



e-Palette(トヨタ) トヨタタイムズHPより
自動運転車両のイメージ

新技術の活用

半導体関連企業集積地として
“当たり前”の新技術活用

- 都市鉄道GOA4、公道レベル4~5自動運転
- 都市型ロープウェイ
- 空飛ぶクルマ
- ロボタクシー
- 自動運転車両による手荷物配送(空港⇄鉄道駅⇄熊本市中心部 など)